

小論文（水産学部）の解答例

問

図1から、副菜を欠食しがちであることが分かる。また図2から、副菜を組み込むためには、「手間がかからない」、「時間がある」、「食費に余裕がある」、「自分で用意することができる」ことが強く求められていることが分かる。

「手間がかからない」、「時間がある」ことへの要求は、どちらも副菜を準備する時間が不足していることを示している。そこで電子レンジで調理できる副菜キットや、主菜と副菜をセットにした冷凍食品の開発などが求められる。これらは食品加工企業により取り組まれるべきだろう。買って食べるだけの惣菜としての副菜販売も求められ、これは小売業者によって取り組まれるべきだ。次に「食費に余裕がある」ことが求められているが、副菜まで準備すると食費が高くなりすぎることを示している。安価な原料への変更や大量生産によるコスト削減によって副菜商品の価格を引き下げることが求められるが、これは先の食品加工企業などによる時短副菜商品開発と組み合わせるべきだろう。最後に「自分で用意することができる」ことが求められているが、裏返せば自分で調理することができない現状を示している。調理技術を習得させる教育機関の取り組みや、そこで主体的に学ぶ消費者自身の積極的な取り組みが必要だろう。

多くの課題があるが、最も大きな課題は時短要求への対応であろう。食品加工企業や小売業による時短副菜商品開発への取り組みが強く期待される。(599字)